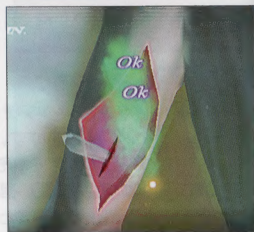
執刀の心得

器具によっては、特殊な使い方をするものもあります。器具を使う上でのちょっとしたコツを紹介するので、執刀の参考にしてください。

ヒールゼリー　使用症状:裂傷、消毒が必要な傷など

Aボタンか B ボタンを押している間、Wiiリモコンのカーソルが当たっている箇所周辺にヒールゼリーが広がります。そのままカーソルを移動させることでヒールゼリーを患部一帯に塗り広げましょう。
ヒールゼリーには傷の回復のほかに、ギルスの進路を妨害したり、出血を緩和させるといった効果もあります。一度では消えない患部には重ね塗りをすると良いでしょう。ただし、ヒールゼリーは塗り続けていると、いずれ出て来なくなります。そうなったら一度押していたボタンを押し直して下さい。そうすれば再びゼリーが出てきます。

注　射　使用症状:薬剤の投与など

注射器は、回復薬を患者に投与してバイタルを回復させたり、特定のギルスを駆逐する時などに使用します。注射器で薬を投与するためには、注射器に薬剤を吸入→患部に吸入した薬剤を注入というステップを踏まなくてはなりません。

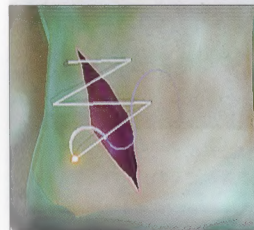
●薬剤の吸入

注射器を選択すると、画面右下に、薬剤の入ったビンが出現します。Wiiリモコンのカーソルを薬剤のビンにポイントし、Aボタン、またはBボタンを押すと、そこに注射器が出現し、ボタンを押している間、注射器に薬剤を吸入し続けます。ボタンを離すか、薬が満タンになると、吸入は止まります。

●薬剤の投与

薬剤吸入後、投与したい箇所にWiiリモコンのカーソルをポイントし、Aボタン、またはBボタンを押すと、そこに注射器が出現して、薬を投与します。ボタンを押し続けている間は、投与し続けます。ボタンを離すか、空になると投与は止まります。

針 & 糸　使用症状:傷の縫合など

Aボタン、またはBボタンを押したまま、Wiiリモコンのカーソルをジグザグにスライドさせることで、その軌跡に沿って患部を縫うことができます。切開した傷や出血線などを縫合するときに使用します。

POINT

患部の端から端まで、しっかりと縫い止めるのがポイントです。縫合の途中でボタンを離したり、患部から大きく離れてしまうとMISSとなります。広すぎず、狭すぎず、ベストの感覚をつかみましょう。

ドレーン　使用症状:血液、腫瘍の吸引など

Aボタンか B ボタンを押している間、Wiiリモコンのカーソルが当たっている箇所にドレーンの管が出現し、カーソル周辺の血液などを吸引し続けます。主に血溜まりの処置に使用します。
また、この状態のままカーソルを移動させることで、吸引しながら、その吸引箇所を移動させることができます。